11月から「ぶんちゃんに年賀状を書こう」開催中
11月12日は「文具の実お渡し会」でした！

文盛堂では10月より【年賀状・喪中はがき】の印刷を承っております！11月からは郵便局などでも【お年玉付き年賀状】の販売が始まり、本格的に年賀状シーズンが到来しました。来年のお正月はぶんちゃんだって年賀状が欲しい！ということで、11月のイベントでは【ぶんちゃんに年賀状を書こう！】をテーマに、手作りの年賀状を作成し、文具のなる木に設置したポストへ投函していただいています。こちらは年賀状シーズンの終わる12月中頃まで開催予定。手作りの落款印（消しゴムハンコ）が100円で作れるセットも販売中です！お店で作ってもOK。まだまだ募集中ですのでふるってご参加ください。

そして実は11月12日には、10月のイベント【収穫祭】の文具の実お渡し会を行いました！10月中に配布していた【ぶんちゃんからの挑戦状】の答えの日ということで、15時にハロウィンの仮装をしたぶんちゃんがお店へやってきて、【挑戦状】のクイズに正解したお子様たちへカプセルに入った【文具の実】をお渡ししました。収穫祭のついでに年賀状を書いてくださってお子様もたくさんいました。

ぶんちゃんと一緒に写真を撮ったり、お話したり。たくさんの方にお楽しみいただけたようで嬉しいイベントでした。

ちょこっと豆知識 年賀状にはなぜ筆ペンを使うのか・・・そもそも筆ペンっていつからあるの！？

実はこの時期、特に売上の高いペンがあります。そうです、【筆ペン】です。年賀状を書くためというのが売れている理由ではありますが、なぜ【年賀状には筆ペン】なのでしょうか。

答えは毛筆で書いた太く力強い字のほうが、新年などのお祝い事にはふさわしいとされているため。実は年賀状を書く際、一般的にはボールペンを使用すべきではないとされています。ボールペンの用途が事務的な場面での筆記用具なので、厳密には手紙などで使用することがマナー違反となるようです。とはいえ、年賀状にボールペンで書くのが絶対に避けるべきである、とされているわけではありません。使い慣れない毛筆などを使用して無理に書くよりも、使い慣れたボールペンで書く方が相手への気持ちが書きやすいのであればOK。大切なのは気持ちです。

そんな【筆ペン】ですが、はじまりは1972年にセーラー万年筆から発売された【ふでペン】。たまたま、まゆ墨用の筆を目にとめた当時の開発部長がサインペンの仕組みを応用して、筆のようなペンを作れば面白いのでは？ということから開発を進めたということです。

8ヶ月以上かけて300種類以上の配合を試すなど試行錯誤の末、筆ペン専用のインクができ、ついに【ふでペン】が完成。1972年に発売されました。

日本ではじめての【ふでペン】は筆を携帯できる、墨を付け直す手間がないということで、またたく間に全国に広まり、販売当初から大反響。生産が追い付かないほど大人気だったようです！

stationery goods
BUNseido
株式会社 文盛堂

TEL 042-752-2303(代 表)
042-752-1104(店直通)
FAX 042-755-5117
〒252-0237
相模原市中央区千代田6-1-18

URL http://www.bunseido.net MAIL bunseido@bunseido.net

LINE ショップカードもあります @wdi0003d
インスタグラム @bunseido
Youtube チャンネル ぶんちゃんねる

しんぶんちゃんの他にもこちらで最新情報をお届けしています！